

環境市民厚生常任委員長報告

(R5.9.26)

環境市民厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第1号議案、令和5年度一般会計補正予算（第4号）の本委員会所管分について、その主な内容は、

民生費では、保育所やこども園などにおける新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策を継続して実施する経費、

衛生費では、プラスチック使用製品廃棄物中間処理に要する経費の増額補正であります。

また、計画的な事務執行を進めるため、指定ごみ袋の作製に係る経費について、債務負担行為が設定されています。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第2号議案、令和5年度介護保険事業特別会計補正予算

(第1号)については、過年度国庫支出金等の精算による返納金の増額補正であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第44号議案、亀岡市立保津保育所移転整備工事（建築）請負契約の締結については、7月24日に入札を執行し、^{さんこう}三煌・^{さんわ}山和特定建設工事共同企業体と5億6,925万円で仮契約を締結したものであり、この仮契約を本契約とするためのものであります。

採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、保育所の移転整備を行うにあたり、子ども達を守るため、施設周辺の安全対策について、十分配慮されたいとの意見がありました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告といたします。

○保育所を移転、保育を充実

亀岡市立保津保育所移転整備工事（建築）請負契約の締結について
可決（全員賛成）

施設の耐震化や在園児の安全性確保のため、保津文化センター南側の市有地に園舎を移転し新築する。新施設では、①0歳児保育②各年齢の定員増加③保育所型認定こども園への移行④一時保育を行う。

○プラの中間処理で資源化を推進

一般会計補正予算
（第4号）
可決（全員賛成）

ごみ減量・資源化等推進事業経費

449万5千円増

ごみの分別区分を拡大し、プラスチック製容器包装と製品プラスチックを一括回収にしたことで、プラスチックの回収量が増加して

【主な質疑・意見】

問 各年齢で何人受け入れる計画なのか。

答 現在の計画では、0歳児6人、1歳児12人、2歳児12人、3歳児20人、4歳児20人、5歳児20人を受け入れる予定である。

意見 移転先に接する道路は交通量が多い。子どもたちを守るため、施設周辺の安全対策には十分配慮すること。

おり、資源化のために実施している中間処理委託経費を増額する。

【主な質疑】

問 回収量は、当初の予定からどのくらい増加しているのか。

答 25・1%増加している。

※自治会が申請するとペットボトル回収用のネットを受け取ることができます。